

ディスクロージャー誌の修正について（正誤表）

2023（2022 年度）ディスクロージャー誌の記載に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

自己資本の充実の状況（定性情報）

【P. 33】

【誤】 ⑦ 証券化エクスポージャーに関する事項

1. リスク管理の方針及びリスク特性の概要

当社グループにおいては、auフィナンシャルサービス株式会社がオリジネーターとして証券化取引に関与しているほか、auじぶん銀行株式会社が出資者として関与しています。

上述の証券化取引は当社グループ内で完結することから、当社グループ全体としてはグループ外との証券化取引を行っておりません。したがって、本項目以下に関しては、該当事項はございません。

2. 持株自己資本比率告示第226条第1項第1号から第4号まで（持株自己資本比率告示第280条の2第2項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要

該当ありません。

3. 信用リスク削減手法として証券化取引を用いる場合の方針

該当ありません。

4. 証券化エクスポージャーの信用リスク・アセットの額の算出に使用する方式の名称

該当ありません。

5. 証券化エクスポージャーのマーケット・リスク相当額の算出に使用する方式の名称

該当ありません。

6. 持株会社グループが証券化目的導管体を用いて第三者の資産に係る証券化取引を行った場合には、当該証券化目的導管体の種類及び当該持株会社グループが当該証券化取引に係る証券化エクスポージャーを保有しているかどうかの別

該当ありません。

7. 持株会社グループの子法人等（連結子法人等を除く。）及び関連法人等のうち、当該持株会社グループが行った証券化取引（持株会社グループが証券化目的導管体を用いて行った証券化取引を含む。）に係る証券化エクスポージャーを保有しているものの名称

該当ありません。

8. 証券化取引に関する会計方針

該当ありません。

9. 証券化エクスポージャーの種類ごとのリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関の名称

該当ありません。

10. 内部評価方式を用いている場合には、その概要

該当ありません。

11. 定量的な情報に重要な変更が生じた場合には、その内容

該当ありません。

【正】 ⑦ 証券化エクスポージャーに関する事項

1. リスク管理の方針及びリスク特性の概要

当社グループは、投資可能なエクスポージャーについて明確に定義し、ストラクチャーが複雑又は信用リスクが極めて大きいと判断される商品については投資対象外としております。保有する証券化商品には、裏付資産のデフォルトやオリジネーターのデフォルトリスク等を含む信用リスクや、市場リスク、価格変動リスクが内包されております。

2. 持株自己資本比率告示第226条第1項第1号から第4号まで（持株自己資本比率告示第280条の2第2項において準用する場合を含む。）に規定する体制の整備及びその運用状況の概要

当社グループは、証券化商品投資に際して定めた規程類に基づき、裏付資産の属性分析や回収実績に加え、案件組成時に定めた信用事由のトリガー抵触有無等について定期的にモニタリングしており、月次のALM委員会にてモニタリング状況を報告しております。

3. 信用リスク削減手法として証券化取引を用いる場合の方針

当社グループは、信用リスク削減手法として証券化取引を用いておりませんので、方針を定めておりません。

4. 証券化エクスポージャーの信用リスク・アセットの額の算出に使用する方式の名称

当社グループは、外部格付準拠方式を使用しております。

5. 証券化エクスポージャーのマーケット・リスク相当額の算出に使用する方式の名称

当社グループは、持株自己資本比率告示第16条に基づき、自己資本比率の算式にマーケット・リスク相当額を算入していないため、該当ありません。

6. 持株会社グループが証券化目的導管体を用いて第三者の資産に係る証券化取引を行った場合には、当該証券化目的導管体の種類及び当該持株会社グループが当該証券化取引に係る証券化エクスポージャーを保有しているかどうかの別

該当ありません。

7. 持株会社グループの子法人等（連結子法人等を除く。）及び関連法人等のうち、当該持株会社グループが行った証券化取引（持株会社グループが証券化目的導管体を用いて行った証券化取引を含む。）に係る証券化エクスポージャーを保有しているものの名称

該当ありません。

8. 証券化取引に関する会計方針

当社グループは、証券化取引について金融商品会計基準等に準拠し、適切に会計処理を行っております。

9. 証券化エクスポージャーの種類ごとのリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関の名称

リスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関は、株式会社格付投資情報センター（R&I）、株式会社日本格付研究所（JCR）、ムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's）、S&Pグローバル・レーティング（S&P）、フィッチ・レーティングス（Fitch）の5つの機関を採用しています。

10. 内部評価方式を用いている場合には、その概要

該当ありません。

11. 定量的な情報に重要な変更が生じた場合には、その内容

該当ありません。

自己資本の充実の状況（定量情報）

【P. 36】

② 自己資本の充実度に関する事項

1. リスク・アセットの額及び信用リスクに対する所要自己資本の額

資産（オン・バランス）項目	誤		正	
	2023年3月期末		2023年3月期末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
法人等向け	53,794	2,151	49,617	1,984
中小企業等・個人向け	560,732	22,429	334,430	13,377
不動産関連向け	554,745	22,189	785,223	31,408

4. 連結リスク・アセットの合計額及び連結総所要自己資本額

	誤				正			
	2022年3月期末		2023年3月期末		2022年3月期末		2023年3月期末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
オペレーショナル・リスク（基礎的手法）	/	8,994	/	/	224,867	8,994	/	/
オペレーショナル・リスク（標準的計測手法）	224,867	/	167,229	6,689	/	/	167,229	6,689

（注）4. オペレーショナル・リスクは、当社グループは基礎的手法を採用しています。 （注）4. オペレーショナル・リスクは、当社グループは標準的計測手法を採用しています。

【P. 37】

③ 信用リスクに関する事項

1. 信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高及びエクスポージャーの主な種類別の内訳

2. 信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高のうち、地域別、取引相手の別、残存期間別の区分ごとの額及びそれらのエクスポージャーの主な種類別の内訳

3. 延滞エクスポージャーの期末残高又はデフォルトしたエクスポージャーの期末残高

	誤				
	信用リスクエクスポージャー期末残高				延滞 エクスポージャー
	うち貸出金	うち有価証券	うちデリバティブ		
国内	3,763,292	2,345,957	407,540	24,666	3
国外	3,997	-	3,997	-	-
地域別合計	3,767,290	2,345,957	411,537	24,666	3
金融機関向け	179,664	-	35,929	24,666	-
法人等向け	130,796	314	46,756	-	-
中小企業等・個人向け	1,271,293	761,158	-	-	3
不動産関連向け	1,584,930	1,584,483	-	-	-
その他	36,199	-	-	-	-
取引相手の別合計	3,767,290	2,345,957	411,537	24,666	3
1年以下	586,846	2,501	27,334	-	-
1年超	2,586,753	2,098,962	369,546	24,666	3
期限の定めのないもの等	593,690	244,493	14,657	-	-
残存期間別合計	3,767,290	2,345,957	411,537	24,666	3

	正				
	信用リスクエクスポージャー期末残高				延滞 エクスポージャー
	うち貸出金	うち有価証券	うちデリバティブ		
国内	3,763,834	2,345,957	407,671	2,404	3
国外	4,007	-	4,007	-	-
地域別合計	3,767,841	2,345,957	411,678	2,404	3
金融機関向け	157,402	-	36,069	2,404	-
法人等向け	126,620	314	46,756	-	-
中小企業等・個人向け	992,433	455,166	-	-	-
不動産関連向け	1,890,778	1,890,475	-	-	3
その他	36,199	-	-	-	-
取引相手の別合計	3,767,841	2,345,957	411,678	2,404	3
1年以下	588,537	2,501	27,334	1,304	-
1年超	2,585,614	2,098,962	369,546	1,100	3
期限の定めのないもの等	593,690	244,493	14,797	-	-
残存期間別合計	3,767,841	2,345,957	411,678	2,404	3

【P. 38】

6. 標準的手法が適用されるエクスポージャーのうち持株自己資本比率告示第33条から第54条まで及び第55条の2の規定に該当するエクスポージャーについて

(1) ポートフォリオの区分ごとの内訳

		誤					リスク・ウェイトの加重 平均値 (%) F=E/(C+D)
		CCF・信用リスク削減効果適用前		CCF・信用リスク削減効果適用後			
		オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目	オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目	信用リスク・ アセットの額	
		A	B	C	D	E	
5.	我が国の地方公共団体向け	14,923	-	14,923	-	-	-
9.	我が国の政府関係機関向け	37,921	-	37,921	-	3,226	9
11.	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	154,612	250,462	154,612	2,790	36,417	24
	(うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け)	128,065	-	128,065	-	31,619	25
13.	法人等向け (特定貸付債権向けを含む。)	129,668	-	129,668	-	52,666	41
14.	中堅中小企業等向け及び個人向け	1,271,293	5,072,052	1,271,293	22,812	560,732	44
15.	不動産関連向け	1,584,930	-	1,584,930	-	554,745	35
	(うち自己居住用不動産等向け)	52	-	52	-	38	73
	(うち賃貸用不動産向け)	1,584,877	-	1,584,877	-	554,707	35
23.	上記以外	41,809	-	41,809	-	89,483	214
	合計 (信用リスク・アセットの額)					1,298,830	

	正					
	CCF・信用リスク削減効果適用前		CCF・信用リスク削減効果適用後			リスク・ウェイトの加重 平均値 (%)
	オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目	オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目	信用リスク・ アセットの額	
	A	B	C	D	E	
5. 我が国の地方公共団体向け	17,575	-	17,575	-	-	-
9. 我が国の政府関係機関向け	35,269	-	35,269	-	3,226	9
11. 金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	157,017	248,057	157,017	385	37,070	24
(うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け)	19,901	148,346	19,901	337	4,124	20
13. 法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	125,492	-	125,492	-	48,490	39
14. 中堅中小企業等向け及び個人向け	969,620	5,072,052	969,620	22,812	345,974	35
15. 不動産関連向け	1,890,778	-	1,890,778	-	785,223	42
(うち自己居住用不動産等向け)	1,890,778	-	1,890,778	-	785,223	42
(うち賃貸用不動産向け)	-	-	-	-	-	-
23. 上記以外	33,132	-	33,132	-	67,790	205
合計（信用リスク・アセットの額）					1,289,337	

【P. 39】

(2) ポートフォリオの区分ごとのCCFを適用した後及び信用リスク削減手法の効果を勘案した後のエクスポージャーの額並びにリスク・ウェイトの区分ごとの内訳

相手方当事者の区分	誤 資産の額及び信用相当額の合計額 (CCF・信用リスク削減効果適用後)										合計
	(0%)	(10%)	(20%)	(25%)	(30%)	(35%)	(50%)	(60%)	(75%)	(100%)	
5. 我が国の地方公共団体向け	14,923	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,923
9. 我が国の政府関係機関向け	-	37,921	-	-	-	-	-	-	-	-	37,921
11. 金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け (うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け)	-	-	50,915	99,488	6,951	-	48	-	-	-	157,402
	-	-	48,980	72,171	6,914	-	-	-	-	-	128,065
13. 法人等向け (特定貸付債権向けを含む。)	-	-	39,141	-	-	65,081	5,828	-	337	19,280	129,668
14. 中堅中小企業等向け及び個人向け	-	-	-	-	-	22,081	750,973	521,051	-	-	1,294,105
15. 不動産関連向け (うち自己居住用不動産等向け)	-	-	-	-	-	1,584,739	191	-	-	-	1,584,930
	-	-	-	-	-	-	191	-	-	-	191
(うち賃貸用不動産向け)	-	-	-	-	-	1,584,739	-	-	-	-	1,584,739
合計	523,579	39,424	91,457	99,488	6,951	1,649,820	28,148	750,973	521,388	20,410	3,731,639

相手方当事者の区分	正 資産の額及び信用相当額の合計額 (CCF・信用リスク削減効果適用後)										合計
	(0%)	(10%)	(20%)	(25%)	(30%)	(35%)	(50%)	(60%)	(75%)	(100%)	
5. 我が国の地方公共団体向け	17,575	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17,575
9. 我が国の政府関係機関向け	3,003	32,266	-	-	-	-	-	-	-	-	35,269
11. 金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け (うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け)	-	-	101,658	-	55,670	-	71	-	-	2	157,402
	-	-	19,467	-	770	-	-	-	-	-	20,238
13. 法人等向け (特定貸付債権向けを含む。)	12,000	-	63,988	-	-	-	27,454	-	337	21,712	125,492
14. 中堅中小企業等向け及び個人向け	-	-	-	-	-	-	471,382	-	521,051	-	992,433
15. 不動産関連向け (うち自己居住用不動産等向け)	-	-	-	-	-	1,584,738	-	-	301,863	4,176	1,890,778
	-	-	-	-	-	1,584,738	-	-	301,863	4,176	1,890,778
(うち賃貸用不動産向け)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	541,235	33,769	167,049	-	55,670	1,584,738	498,908	-	823,252	27,021	3,731,644

(3) 以下に掲げるリスク・ウェイトの区分ごとの内訳

・CCFを適用する前及び信用リスク削減手法の効果を勘案する前のオン・バランスシート及びオフ・バランス取引のエクスポージャーの額

・CCFの加重平均値

・CCFを適用した後及び信用リスク削減手法の効果を勘案した後のオン・バランスシートの額及びオフ・バランス取引のエクスポージャーの額の合計額

リスク・ウェイトの区分	誤 2023年3月期末				正 2023年3月期末			
	CCF・信用リスク削減効果適用前		CCFの 加重平均値 (%)	資産の額及び信用 相当額の合計額 (CCF・信用リスク削減 効果適用後)	CCF・信用リスク削減効果適用前		CCFの 加重平均値 (%)	資産の額及び信用 相当額の合計額 (CCF・信用リスク削減 効果適用後)
	オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目			オン・バランス 資産項目	オフ・バランス 資産項目		
40%未満	2,379,721	4,997,909	3.00	2,410,719	2,382,125	4,995,504	3.03	2,382,462
40%～70%	476,598	319,094	78.00	779,121	476,598	319,094	37.21	498,908
75%	822,701	5,510	10.00	521,388	822,701	5,510	10.00	823,252
90%～100%	27,021	-	-	20,410	27,021	-	-	27,021
合計	3,706,041	5,322,514		3,731,639	3,708,446	5,320,109	5.09	3,731,644

【P. 40】

⑤ 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

2. 与信相当額

	誤	正
	2023年3月期末	2023年3月期末
グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る）	1,763	641
グロスのアドオンの額	2,404	1,763
グロスの与信相当額	1,304	2,404
外国為替関連取引	1,100	1,304
金利関連取引	-	1,100
その他	-	-
ネットイングによる与信相当額削減額	2,404	-
ネットの与信相当額	-	2,404
担保の額	2,404	-
ネットの与信相当額 （担保による信用リスク削減効果勘案後）	0	2,404

⑥ 証券化エクスポージャーに関する事項

ロ. 当社グループが投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャー

誤	正
1. 保有する証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳 該当ありません。	1. 保有する証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳 (単位：百万円)

	2022年期末		2023年期末	
	オン・バランス	オフ・バランス	オン・バランス	オフ・バランス
クレジットカード債権	-	-	1,845	-

(注) 再証券化エクスポージャーに該当する取引は保有しておりません。

2. 保有する証券化エクスポージャーの適切な数のリスク・ウェイトごとの残高及び所要自己資本の額 該当ありません。	2. 保有する証券化エクスポージャーの適切な数のリスク・ウェイトごとの残高及び所要自己資本の額 (単位：百万円)
---	---

	2022年期末		2023年期末	
	残高	所要自己資本額	残高	所要自己資本額
20%以下	-	-	1,845	11

(注) 再証券化エクスポージャーに該当する取引は保有しておりません。

【P. 41】

⑨ 持株自己資本比率告示に規定する出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

イ. 連結貸借対照表計上額及び時価並びに次に掲げる事項に係る連結貸借対照表計上額

	誤		正	
	2023年3月期末		2023年3月期末	
	連結貸借対照表計上額	時価	連結貸借対照表計上額	時価
(1) 上場している持株自己資本比率告示に規定する出資等又は株式等エクスポージャー	2,056	2,056	2,056	2,056
(2) (1)に該当しない上場している持株自己資本比率告示に規定する出資等又は出資等又は株式等エクスポージャー	21,745	-	22,628	-
合計	23,801	2,056	24,684	2,056

(注) 上場している持株自己資本比率告示に規定する出資等又は株式等エクスポージャーに該当しない出資等又は株式等エクスポージャーは、リスク・ウェイトのみなし計算を行っているエクスポージャーを含んでおります。
また、時価に関しては、時価を把握する事が極めて困難と認められるエクスポージャーを含んでいるため、「-」としております。

ハ. 連結貸借対照表で認識され、かつ、連結損益計算書で認識されない評価損益の額

誤	正
2023年3月期末	2023年3月期末
1,000	944

(注) 私募リート等について記載しております。

⑩ リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

	誤	正
	2023年3月期末	2023年3月期末
ルック・スルー方式	20,066	20,866
合計	20,070	20,870